

2026 年度 3 年次編入学入試 A 日程【小論文】解答例

問 1 解答例

海洋に漂流する幽霊漁具（ゴーストギア）はプラスチック製で、長期間生態系や水産資源に深刻な影響を及ぼし、海難事故を誘発している可能性もある。対策には所有者情報のマーキングや国際的な条約締結が不可欠である。日本には水産資源保護法があるが、対象は大型漁船に限定されており、これまで多くのゴーストギアを排出してきた。地域間や漁業者間での意識の差を解消し、国際的に連携を強化して対応していく必要がある。

問 2 解答例

この問題に対しては、国や地域、経済的な状況、漁業の規模によって漁業者の対応に大きな違いがあると思われる。大規模漁業者は流出防止策や新技術の導入に積極的である一方で、小規模漁業者は資源や情報が限られ、対策には消極的な場合もあると考えられる。また持続可能な漁業を重視する国や地域と、従来から漁法を変えていない国や地域では対応にばらつきがあるだろう。しかし海は繋がっており、意識の高いグループのみで努力を積み上げても効果は限定的に留まると予想され、そのことは海の環境問題の大きな特徴である。各国・各地域の政策を共通のものとし、漁業者の問題意識を高めるために地球規模で連携することが、ゴーストギア問題の解決の一步となるだろう。海に囲まれた漁業国として、日本でも率先して大規模業者の画期的な対策の開発を支援し、小規模業者へは意識改革促進や対策に関する資金援助などを行うことが必要ではないかと考える。